

京都市統合データベースを用いた疾病および治療実態に関する疫学研究

研究の名称

京都市統合データベースを用いた疾病および治療実態に関する疫学研究

研究の目的・意義

本研究は、京都市の保有する大規模統合レセプトデータ（医療、健診、介護データ）を用いて、同市において優先的に検討が必要な疾患の発生状況や、その予防・治療・介護の実態を明らかにするとともに、その疾患に関するエビデンスを構築することを目的とします。本研究により、疾患に対する治療・介護実態や健康施策の利活用状況や有効性等を明らかにでき、適切な健康政策立案に繋げることができると考えています。

対象者

対象期間における京都市の「国民健康保険加入者」、「後期高齢者医療制度加入者」、「肺がん検診の受診者」、および2013年4月～2020年12月のがん登録者（肺がん、消化器がん、血液がん）。

対象期間

2013年4月から 2023年3月

研究実施期間

倫理委員会承認後から2029年3月31日。以後更新を予定。

利用または提供する試料・情報の項目

京都市が保有している、国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険の以下の情報を利用します。

※ 利用する情報：住民基本台帳情報、国民健康保険給付実績、後期高齢者医療保険給付実績、介護保険給付実績、被保険者台帳、健診データ、要介護認定調査に関する情報、基本チェックリストに関する情報、がん登録データ、がん検診データ、75歳お口の健診事業等

結果の公表

疾患の発生状況や、その予防・治療・介護の実態を明らかにし、京都市の施策に活かすことを主たる目的とするものですが、学術的価値のある研究結果等については、学会発表、論文、講演などで公表します。

個人情報保護について

利用する情報は京都大学に提供される前に特定の個人を識別できないよう匿名化を行います。結果が公表される場合、個人が特定されることはありません。

研究機関の名称・研究責任者の氏名（* 統合データ取扱者）

中山 健夫* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授

研究実施者

石見 拓* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 教授
高橋 由光* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 准教授
加藤 源太* 京都大学医学部附属病院 病床運営管理部 特定教授
植嶋 大晃* 京都大学国際高等教育院附属データ科学イノベーション教育研究センター 特定講師
河野 文子* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 特定講師
當山 まゆみ* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 助教
西川 佳孝* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 助教
立山 由紀子* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 特定講師
島本 大也* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 特定講師
西岡 典弘* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 特定講師
大浦 智子* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 客員研究員
岡田 博史 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 客員研究員
清原 康介 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 客員研究員
佐々木 康介* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 大学院生
中村 奈緒子* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 大学院生
チン ブンキョウ* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 大学院生
石崎 美保* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 大学院生
長井 ひろみ* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 大学院生
池内 寛子* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 大学院生
吉村 聡志* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 大学院生
野田 貴志* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 大学院生
Hsu Jui-Yun* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 大学院生
山本 智之* 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野 大学院生

【共同研究機関ではない研究補助者】

山本 景一 大阪歯科大学 医療イノベーション研究推進機構 (TRIMI) 事業化研究推進センター データサイエンス部門 教授
谷口 尚大郎 公益財団法人 宮崎県健康づくり協会 健康推進部次長
矢沢 みゆき 済生会唐津病院 循環器科 医長
小林 大介 立命館大学保健センター 准教授

研究資金・利益相反

1) 研究資金

・運営費交付金（教育研究費）
・厚生労働科学研究費補助金：循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業（課題番号22FA1008）
・株式会社ヘルステック研究所と京都大学との共同研究費

2) 提供者と研究者との関係

京都市と協議の上、研究の企画、運営、解析、結果公表を行います。資金提供者は、研究の企画、運営、解析、結果公表にかかるコンセプト構築のみに関与します。

3) 利益相反

・研究者の石見は、ヘルステック研究所の社外取締役ですが、報酬は受け取っておらず、親族を含め同研究所の株式を保有していません。
・研究者の島本、立山は、株式会社ヘルステック研究所との共同研究費を財源として雇用されています。
・利益相反について「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。
・アストラゼネカ株式会社、東和薬品株式会社、TIS株式会社は、株式会社ヘルステック研究所と共同研究契約を結び、各対象疾患に関する分析を目的とした研究費の提供を行っています。
・研究者の中村はコロボラスト株式会社に勤務しています。

本研究に対するお問い合わせ

・研究実施事務局

京都市統合データ研究実施事務局（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 予防医療学分野内）

担当者 島本大也 shimamoto.tomonari.5w@kyoto-u.ac.jp
立山由紀子 tateyama.yukiko.5e@kyoto-u.ac.jp

・相談窓口

京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

075-753-9301

060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp